

腎臓リハビリテーション

腎臓リハビリテーションは、『腎疾患や透析医療に基づく身体的・精神的影響を軽減させ、症状を調整し、生命予後を改善し、心理社会的ならびに職業的な状況を改善することを目的

として、運動療法、食事療法と水分管理、薬物療法、教育、精神・心理的サポートを行う、長期にわたる包括的なプログラム』である。まさに、慢性腎臓病 (CKD) 患者のトータルケアを目的としている。

腎臓リハビリテーションの一層の普及ならびに、医学的発展を目的として、医療関係者や研究者の職種を超えた学術団体である、腎臓リハビリテーション学会が 2011 年に設立。

2016 年度診療報酬改定では、糖尿病性腎症の患者が重症化し、透析導入となることを防ぐ為、進行した糖尿病性腎症の患者に対する質の高い運動指導を評価するために、腎不全期患者指導加算が設定された。その際、厚生労働省から関係者の質の確保対策が求められた事を受け、**当学会は世界初の腎臓リハビリテーション指導士の認定制度を 2018 年に発足させ、2019 年 3 月 10 日、大分県別府市にて腎臓リハビリテーション指導士試験が行われた。**

腎臓リハビリテーションの実務経験を積み、本学会の全国学術集会での学会発表も行い、受験資格を取得。医師を始めとする全国の医療従事者約 300 名が受験し、合格。世界で初めての『腎臓リハビリテーション指導士』の一員となった。

今後の展望

腎臓リハビリテーション指導士は、包括的腎臓リハビリテーションを通じて腎疾患患者の治療ならびに再発予防と QOL の向上に貢献できる。また、腎臓リハビリテーションの技術や考え方は、動脈硬化性疾患の発症予防(一時予防)から治療ならびに再発予防(二次予防)に至るまで幅広くカバーできる。

